

ほろっぺん

310 登山ぐう



大浪池登山



久しかぶいにはいた登山ぐう



大崎短歌会

兼題「桃」

桃の花かざりて六歳児茶会なり
 おいしくなあれママにあげるお茶 上南 紀子
 墓地に咲くすももの花は咲き揃い
 小さき花びら風になびきぬ 坂元つる子
 水温む朝露受けて桃の花を
 白酒浮かべ孫等思わん 井元かず子
 梅咲くも桃花はまだかと鶯の
 初鳴き聞こゆ我宿の庭 実吉 安仁
 庭に立つ水蜜桃三本に成りし実を
 手土産にせし遠き昔よ 原田 葉子
 桃の葉を煎じお肌撫でつける
 自家製汗疹の特効薬なり 穂園 芳江

蕾もつ桃の木庭に植えらるる

「受賞記念」と友どちが来て

スキップの長女のマフラー桃色に

幸せもらい日差しながむる

絵馬に込む看護師の道関越へよ

桃のやふなるをとめらの冬

山下 海征

本後 淑子

馬場 みさ

諸木小春

北村虎王

薩摩郷句

兼題「嬉し」

妊活の嬉し電話い 飛ん上がつ

(唱) 間違げは無かち また聞つ直えつ

諸木小春

初月給で 孫かい嬉し 二升結い

(唱) 宝ち飲まじ 床様め飾つ

北村虎王

こ言時き 嬉し大谷 ホームラン

(唱) 期待い応えつ 拍手が止まじ

西ノ園ひらり

久しか振り 亡母と出会た 嬉し夢

(唱) 懐かし亡母い 色々語つ

長重リリー

嬉しこつ 小んけチョコをば 孫がハイ

(唱) ホワイトデーは 諭吉じゃろかい

二見愚楽満

今日はデート 告白嬉し 返事ず貰つ

(唱) 仕事ちゃ手付かじ そわそわん青年

上村牛歩

嬉し事つ 言うセールスい また欺つ

(唱) つい買つしもた 似合わん指輪

遠矢耐多

嬉し態で 大儀言方で 孫ん守い

(唱) おいでおいでち つい甘め婆

上窪小絵

合格つたち 知らせい婆あ 嬉し泣つ

(唱) 強い事じゃった 自慢の孫じゃ

満石うらら

嬉しこつ グランドゴルフ 七千歩

(唱) 楽しゆ済ませた ノルマン散歩

諸木美舟

嬉し事 願ごた一打で ペツパミル

(唱) ムートバーじゃが しっかい繋ねつ

藤元鬼瓦